

令和6年度 第1学年授業改善推進プラン

小平第六小学校

	伸ばしたい力	授業改善プラン	評価の計画	評価	
				1学期	2学期3学期
国語	・経験したことなどから書くことを見付け、伝えたいことを明確にする。また、自分の思いや考えが明確になるように構成を考えて書く。	・身近なことや経験したことなどを書く活動や、日記や手紙などを書く活動を通して、児童に「何を一番伝えたいのか」を事前に考えさせたり、メモを取らせたりする。 ・思ったことや考えたことを書かせる際には、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えさせてから書かせるようにする。 ・文章を書いた後に読み直しをする習慣を付けさせ、調音、拗音、促音、撥音の表記や助詞の使い方の定着を図る。	・伝えたいことを明確にし、事柄の順序を意識したりして、文章が書けているかを評価する。	3	
	・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、自分の考えや感想を伝え合う。	・物語文では、役割を決めて音読したり、演じたりさせる。説明文は、題名や見出し、図、写真、挿絵などを手掛かりにして文章の内容の大体を捉えさせる。 ・友達と交流する活動(ペア・グループ)を行い、一人一人が自分の考えを友達に伝える機会を設定する。 ・話し方・聞き方のスキルをスモールステップで指導し、習熟させる。	・自分の考えを発表したり、友達と感想を交流している様子、ワークシートやノート、作文などの記述から評価する。	3	
	・平仮名及び片仮名、第1学年に配当されている漢字を正しく読んだり、書いたりする。	・平仮名は正しい口形、発音、発声を意識させる。片仮名は片仮名で書く語の種類を知り、文章の中で使うようにさせる。漢字は、字形と具体的な事柄(実物や絵)とを結び付けることで、漢字が表意文字であることを意識しながら、興味関心を高められるようにする。 ・学習者用端末の「ドリルプラネット」を活用して、反復練習に取り組み、定着を図る。	・音読や書き取りのワークシート、ノート、作文の記述などから、正しく読んだり書いたりできているかを評価する。	3	
算数	・簡単な加法及び減法の計算が確実にできる。	・ブロックなどの半具体物を操作させることで、加法や減法の意味や計算の仕方について理解させる。また、計算カードを用いた活動に繰り返し取り組ませ、習熟を図る。また、学習者用端末を活用して反復学習に取り組み、基礎的な力の定着を図る。	・活動の様子やノートなどから計算の正確さを評価する。	3	
	・身の回りから数量や形を見出し、問題を捉え、その解決方法を考える。	・具体物を使用したり、絵を用いて表したりして、具体的な場面と対応させながら考えさせ、理解を深める。児童相互で考えを説明し合う機会を設けたり、全体での発表の場を設けたりして、考えを発表することに慣れていくよう指導していく。	・活動の様子や、具体物・半具体物の操作、説明・ノートなどで評価する。	3	
生活	・すすんで身近な人や自然、社会に関わろうとする。	・活動や体験の機会を計画的に設定し、楽しみながら身近な人や自然、社会と関わりをもてるようにする。 ・他学年や幼稚園・保育園との交流を設定し、他者と関わることで自分の成長を感じられるようにする。	・活動の様子やワークシート、発見カードの記述から評価する。	3	
	・活動の楽しさを味わい、それらを通して気付いたことを表現する。	・気付いたことを言語化する機会を設定し、それらを観察カードなどに表現する方法を繰り返し指導する。 ・体験したことから、身近な人や自然、社会の特徴やよさ、自分との関わり等に着目させるとともに、それらを言葉や絵、動作、劇化など多様な方法で表現させる。	・活動の様子を観察し、つぶやきや発言、ワークシート、発見カードなどの記述、発表の様子などを積み重ねて評価する。	3	
音楽	・歌や身体表現、演奏を楽しんで行う。	・リズムに合わせて体を動かしたり、身の回りの言葉をリズムにのって伝えたりする活動を通して、音楽の楽しさを味わえるようにする。 ・いろいろな曲に出会わせ、声を合わせて歌ったり、様々な楽器を使っての合奏を行わせたりすることで、音楽を表現することへの意欲を高める。	・一人一人の歌声やリズム遊び、様々な楽器の演奏の様子を評価する。	3	
	・音楽表現を楽しむために必要な音に合わせて演奏する。	・鍵盤ハーモニカの学習を通して、タンギングや基本的な指遣いなどの学習を進めていく。	・一人一人の演奏の様子を見たり聞いたりして、評価する。	3	
図工	・感じたことや考えたことを絵や造形に表す。	・クレパスやはさみの使い方に慣れ、楽しく活動できるように、自分の思いに合わせて児童自らが選択できるような教材準備をする。	・活動の様子を観察するとともに、作品から評価する。	3	
	・作品の美しさやよさを味わう。	・作品のイメージを授業の導入で共有したり、友達のを鑑賞したりすることにより、お互いの作品のよさを話し合いながら鑑賞させる。	・鑑賞しながらの発言、メッセージカードを見取り、評価する。	3	
体育	・多様な運動に意欲的に取り組み、体力を向上させる。	・器械・器具・用具を使っての運動やゲームを組み合わせ、楽しく遊びながら身体を鍛え、体力を向上させる。 ・多様な動きを経験する中で、体を動かすことの楽しさを味わわせることで、運動への意欲を高めるようにする。	・器械・器具・用具の使い方や、ゲームへの参加の仕方を観察し、一人一人の運動量を評価する。	3	
	・ルールを理解し、協力して運動する。	・運動の方法やルールを理解させるとともに、力を合わせて運動する喜びや一緒に活動する楽しさを味わわせる。	・活動の様子を観察し、評価する。	3	
道徳	・善悪の判断をし、生活の中で行動に移そうとする。	・子どもがイメージしやすい資料を準備し、実生活と結びつけた学習の流れを工夫する。 ・毎回、授業の最後に自分自身の行動の振り返りを行わせることで、これから生活の中で活かしていこうとする気持ちを育てる。	・動作化・発言・ワークシート・その後の行動の変化などで評価する。	3	
	・相手の気持ちを考えて行動しようとする。	・自分や相手の気持ちや立場を具体的に示し、考えさせたり、話し合わせたりする。 ・ペアやグループでの話し合い活動を取り入れ、いろいろな考え方や感じ方があることに気付かせる。	・動作化・発言・ワークシート・その後の行動の変化などで評価する。	3	
特別活動	・当番活動や、話し合い活動にすすんで取り組む。	・仕事の内容や、やり方を十分に理解させ、誰かの為に役に立つ喜びを味わわせ、認め励まししながら活動させる。 ・学級会での話し合いを自分事として捉えられるように身近な議題を設定する。	・活動の様子や、振り返りなどから評価する。	3	
	・交流会や全校での集会、行事などに楽しく参加する。	・事前指導で活動の意義や目的を伝え、楽しんで参加させる。振り返りで、楽しさを共有させ、高学年年に対する憧れの気持ちをもたせる。	・活動の様子を観察し、作文やお礼の手紙などから評価する。	3	

評価 1:達成せず 2:やや達成 3:概ね達成 4:達成

令和6年度 第2学年授業改善プラン

小平第六小学校

	伸ばしたい力	授業改善プラン	評価の計画	評価		
				1学期	2学期	3学期
国語	・話したいことを順序に気を付けて最後まで話す。 ・大事なことを落とさないように聞く。	・「伝えたい内容を考えて話す」「大事なことから、順序に気を付けて話す」ことを指導する。 ・「話を最後まで聞く」「内容に応じて、顔きながら聞く」ことを指導する。	・「聞く・話す」活動での行動観察、発表、ワークテスト、日常の活動で評価する。	2		
	・表現力を付ける。	・音読、詩の暗唱、読み聞かせ、読書、言葉遊びなどを通して語彙を増やし、作文、発表、俳句作り、詩などを書く時に活用できるように指導する。 ・作文はテーマを決め、「はじめ・中・おわり」の段落構成を考えて書くよう指導する。	・ノート、作文、ワークシート、聞き合ったり、読み合ったりする場で評価する。	2		
	・既習漢字、新出漢字を正しく書けるようにする。	・繰り返し漢字ドリル、自主学習ノートを活用する。ミニテストに向け、勉強してテストを受けさせる。	・ミニテストやワークテスト、ノートで活用できているかを評価する。	2		
算数	・2位数のたし算、ひき算を正確にする。	・繰り返し計算練習を行い、基本的な加法・減法の計算技能を定着させる。 ・2位数の加法、減法の力を定着させるために、単元が終わっても繰り返し練習させる。	・授業、ワークテスト、家庭学習の課題で評価する。	2		
	・文章の内容を理解し、演算決定ができる。	・立式に必要な数値や答えに関わる単語にアンダーラインを引き、何を求める問題なのかを確認させる。 ・自分で問題を作成する機会をもつ。	・ワークテスト、ノートで評価する。	2		
	・かけ算九九を確実に定着する。	・九九カードを活用して、1対1で聞き合う機会をつくる。また、繰り返し計算練習を行う。 ・単元が終わった後も、繰り返し練習する。家庭への協力をお願いする。	・ワークテスト、計算プリント、暗唱の課題で評価する。			
生活	・身近な人々や地域に関心をもち、すすんで関わろうとする。	・地域の方々を学校に招いたり、学区域に出かけたりする機会をつくり、あいさつや会話、お礼の手紙を書くなどの活動を通して交流し、地域のよさに気付かせる。	・活動中の行動観察、会話、発見カードの気付き、お礼の手紙等で評価する。			
	・動植物や自然に関心をもち、親しみをもって関わろうとする。	・小動物の世話や、野菜を育てる活動等を通して、育てることの大変さと素晴らしさに気付かせる。	・世話をする様子を観察したり、発見カード等への記入を評価したりする。	3		
	・自分の成長や関わった人に関心をもち、自分のよさに気付き、支えてくれた人への感謝の気持ちをもち。	・自分の幼少期について調べ、気付いたことをパンフレットやポスターなど紙面にまとめ、発表させる。	・パンフレットや絵本、新聞等の紙面や、振り返りのワークシート、発表の様子で評価する。			
音楽	・音楽の楽しさを味わう。	・曲調に合わせて歌ったり演奏したりすることや、友達との交流場面を多く設定する。	・歌唱や演奏の様子で評価する。	2		
	・音楽表現を楽しむための技能を身に付ける。	・拡大鍵盤図を活用しながら指使いを確認したり、声を合わせて歌ったりすることを指導する。	・学び合いの様子、一人やグループで演奏させ評価する。			
図工	・豊かな発想力をもつ。	・材料や道具の特性に合った教材を用意し、いろいろな感覚を味わわせたりいろいろな使い方を体験させたりする。	・活動の様子を観察するとともに、作品から評価する。	3		
	・作品を鑑賞することを通して、自分や友達の作品のよさを見付ける。	・工夫した点を発表したり、お互いの作品のよさを見付けたりして、話し合ったり、鑑賞したりする。	・発表内容や鑑賞カードから評価する。	3		
体育	・いろいろな動きを身に付け、運動に意欲的に取り組む。	・場の設定や教具、ルールなどを児童の実態に応じて工夫する。 ・多様な運動を経験できるように、様々な遊びや活動に取り組ませる。	・運動の様子、振り返りシートで評価する。	2		
	・友達と協力しながら、運動技術の向上を目指す。	・個人での技術向上だけでなく、ペアやグループ学習を取り入れ、教え合いながら技術を高めていく機会をつくる。	・活動の様子で評価する。	2		
道徳	・規範意識を高める。	・児童がイメージしやすい資料や実体験を通して、より具体的に考え、自分で振り返る機会をつくる。	・発言、ワークシートの内容で評価する。	3		
	・相手の気持ちを考えて、身近な人に温かい心で接する。	・日々の生活場面と絡めながら、具体的な場面の中から考え、これからの自分の行動を考える機会を作る。	・発言、ワークシートの内容で評価する。	3		
	・生命や人権を大切にする。	・身近で考えやすい資料や具体的な場面設定を通して、命の大切さ、人権尊重の大切さを感じさせる。	・発言、ワークシートの内容で評価する。	3		
特別活動	・自分からすすんで係や当番活動をする。	・係や当番活動では必要に応じて話し合わせ、自分たちで考えながら行動させるようにする。 ・自分の役割を自覚させ、認め励まし、意欲を高めさせる。	・活動の様子から評価する。	3		
	・話し合い活動で自分の意見を発表する。	・どの子も自分の考えが話せるような話し合いのテーマを設定し、司会進行の仕方や発言の仕方などを理解させる。	・話し合いの様子で評価する。	2		
	・集会や異学年との交流に喜んで参加する。	・事前にねらいと具体的な行動の仕方を示し、参加できるようにする。	・会の参加の様子や感想で評価する。			

評価 1:達成せず 2:やや達成 3:概ね達成 4:達成

令和6年度 第3学年授業改善プラン

小平第六小学校

	伸ばしたい力	授業改善プラン	評価の計画	評価		
				1学期	2学期	3学期
国語	・話の中心に気を付けて聞く。 ・話の中心をはっきりさせ、自分の考えを書き表したり、話したりすることを通して、相手に分かりやすく伝える。	・聞く姿勢、話の聞き方など国語科だけでなく、様々な場面を通して指導する。 ・事柄を順序立てて分かりやすく話すための手立てを工夫する。 ・授業の中で、自分の考えを書く時間をしっかりと保障し、自分の考えとその理由を区別して表現できるように、ワークシートや板書を工夫する。	・スピーチやワークシートでの話し方や聞き取り。 ・授業中の発言 ・ノート、ワークシート	2		
	・段落を意識したり、既習の漢字を使ったりして文章を書く。	・新出漢字を使った短文作り、語彙を増やす練習や、テストの工夫などをする。日常の文章の中でも段落を意識的に使えるようにする。	・漢字ドリル等で繰り返し練習し、短文の中でも漢字が使っているか、ノートやミニテストで評価する。	2		
社会	・社会的事象を観察したり、調査したりする力	・見学や体験を通して、観察する視点や調査方法を具体的に学習する時間を確保する。	・見学シート ・ノート	2		
	・「観察・調査」したことや考えたことを表現する力	・観察したり、調査したりしたことや考えたことを具体的に表現する時間を確保する。	・学習シート ・ノート・発言など ・振り返りカード ミニ新聞、絵カードなどの作品	2		
算数	・基礎基本の定着を図る。	・授業の中で算数的な語句の定義を繰り返し確認し、説明等の中で正しく使わせる。 ・児童の実態に合わせて、既習事項の練習を繰り返す。特に割り算の習熟に力を入れる。	・授業、家庭学習の課題で評価する。子どもの実態に応じた指導をしながら、評価する。	2		
	・文章の内容を理解し、見通しをもって演算決定をする。	・問題場面を、図や立式の根拠を書かせる。また、学び合いの中で、伝えあう活動を繰り返し取り入れていく。	・図や式の根拠の記述をノート等で評価する。 ・学び合いを通してどのように考えたかを発言やノート、振り返り等で評価する。	2		
理科	・身近な自然や動植物に興味をもち、自然を大切にしようとする。	・理科の時間以外でも、季節の移り変わりを取り上げ、様々な場面で自然や科学に触れさせて関心意欲を高める。	・身近な自然に関心をもち、すすんで関わりをもとうとしたか、発言や活動などを記録し評価する。	2		
	・実験や観察したことを自分の言葉で表現したりまとめたりする。	・観察・実験カードやノートの書き方を指導する。自分なりの予想をもって「観察・実験」し、結果を記録したり、結果から分かることを比べたり、まとめたりできるようにする。	・観察・実験カードやノートに、大事な事を落とさず書いているか、自分なりの考えがもてたかどうかを評価する。	2		
音楽	・表現活動や鑑賞活動を行うことの楽しさ、楽曲のよさや面白さを感じ取りながら、主体的に取り組もうとする力。	・楽曲全体の構造をとらえることや、音楽の諸要素と曲想との関わりを知ることで、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取るようにする。	・授業中の発言や態度、ワークシートなどで評価する。	2		
	・表現活動に必要な技能を身に付けて、思いや意図をもって演奏したり創ったりする力。	・基礎的基本的な内容を繰り返し活動の中に取り入れていくことで、必要な技能を身に付けていけるようにする。 ・様々な音楽に触れさせることや、音楽の諸要素と曲想との関わりを知ることで、どのように表現したいかの思いや意図がもてるようにする。	・実技テストや授業中の取組みの様子から、表現に必要な技能が身に付いているか評価する。 ・発言やワークシートの内容と創作作品や演奏の様子によって、思いや意図をもった表現となっているか評価する。	2		
図工	・すすんで表現したり鑑賞したりする活動を楽しもうとする。	・道具の使い方や製作方法を視覚的に提示したり、児童の作品鑑賞をしたりする。	・完成作品だけでなく途中の活動や作品の様子、机間指導や補助簿等による児童観察をする。	2		
	・手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりして造形表現活動をする。	・児童の実態に合った題材を設定し、活動しやすい場面設定をする。	・児童観察、作品、振り返りシートなどから評価する。	2		
体育	・ルールを守って、協力してゲームに取り組む。	・協動的な学習を取り入れ、学習カードなどを活用し、友達と互いの良い点・改善点などを話し合いながら学習できるようにする。	・児童観察、学習カード	2		
	・動作のコツや練習の仕方を知り、技能を身に付ける。	・学習カードを活用し、動作のコツや練習の仕方・結果・感想を記録できるようにし、児童が主体的に学べるようにする。	・学習カードへの記入から、児童の意欲や気付きなどを客観的に評価する。 ・児童の活動への取り組み方や他児童とのかわりなどから評価を行う。	2		
道徳	・相手の気持ちや立場に立って考える思いやりの心を育てる。	・体験や他の教育活動との関連を図るために、児童の実態に合わせて指導する。	・学習カードへの記入から、道徳的価値に対する、児童の意欲や気付きなどを評価する。	2		
	・善悪の判断を正しく行い、自己を見つめる。	・共に悩み、感動を共有し、学び合える資料や教材を提示し、より具体的に考えたり自分を振り返ったりする機会をつくる。	・日常生活における児童の行動観察を行う。	2		
外国語活動	・外国の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。	・外国語の音声をたくさん聞いて楽しむとともに、外国語を通して言語や文化について体験的に理解を深められるようにする。	・活動の様子	3		
	・外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。	・身近な話題をテーマにして、たくさんやりとりをする場面を設定する。 ・カードや画像、アルファベットなども活用し、視覚的に触れる機会をつくる。	・活動の様子	2		
	・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	・児童が興味をもって取り組むことができる言語活動を段階的に取り入れたり、自己表現活動の工夫をしたりする。聴覚的に厳しい児童へは、視覚的な補助も活用する。	・活動の様子、振り返りカード	2		
総合	・身近な事柄から問題を発見し追究し表現できる力を育む。	・児童が問題を発見できるよう、個に応じて問題解決の視点などを助言する。 ・学習の見通しをもって計画的に問題解決ができるような指導・助言をする。	・ワークシートや発言などを通して評価に生かす。	2		
特別活動	・係や当番活動を工夫しながら協力して行う。	・児童一人一人に当番や係活動などで学級における役割をもたせる。自分で考え、工夫する場を意図的に作る。	・活動の様子、学級会ノート、作品、発表の方法、内容などの観察をする。	2		
	・お互いのよさを認め、学級の一員として、よりよく過ごす。	・学校生活での問題や課題を見付け、皆と力を合わせ解決するための取り組みを企画し、実行する。	・活動の様子、活動の振り返りなどの観察をする。	2		

令和6年度 第4学年授業改善プラン

小平第六小学校

	伸ばしたい力	授業改善プラン	評価の計画	評価	
				1学期	2学期
国語	・自分の考えを書いたり、話したりすることを通して、互いの考えの相違点や共通点を考えながら相手に分かりやすく伝える。	・事柄を順序立てて分かりやすく話すための手だてを工夫する。 ・自分の考えを書いたり、話したりする時間を確保し、考えを表現できるようにする。 ・互いの考えを比較する交流ができるよう何のために交流するかという目的を明確にする。考えを分類したり、自分の立場を確認した上で異なる考えの友達と交流したりと、活動の形態を工夫する。	・自分の考えを書いたり言ったりしたことの内容や表現の仕方、友達の考えをもとにした自分の考えの深化を評価する(授業中の発言・ノート、ワークシート)。	2	
	・既習漢字を使いながら、段落のつながりを意識し、指定された長さで具体的な文章を書く。相手意識をもって書く。	・段落同士のつながりや、段落同士をつなぐ接続語を考える学習課題を設定する。 ・辞書の活用・慣用句、ことわざに親しむ・要約するなど、日常生活における言語活動を充実させ、語彙を増やす活動に取り組む。 ・教材文について正確に理解した上で、書いてあることを根拠にして答えを導くような発問を工夫する。	・感想や意見・考えなどを書く時間、交流する時間を設定し、段落相互の関係やつながりを意識した文章を書けたかどうか評価する(ノート、ワークテスト)。	2	
社会	・社会的な事象に関心をもち、問題解決のためにすすんで調べようとする。	・社会的な事象に関する児童の関心を高め、実際に見学したり、具体的に観察・調査したりする機会を計画的・意図的に設ける。	・具体的な観察・調査場面において、子ども自身がどのようなことに関心をもちて記録し、質問しているかをみて評価する。	2	
	・調べたことをもとに自分の考えを表現する。	・調べ、考えたことを表現するための手法を身に付け、それを活用しながら自分の考えを適切に表現する力を付けるようにする。	・ノートや作品、発表や話し合いの場面などの様子を観察したり分析したりして、評価する。	2	
算数	・既習事項を使って自分の考えをもち、表現できるようにする。	・言葉や数、式、図、表、グラフ、数直線を用いて、自分の考えを発表したり、友達の意見を聞いたりする場면을授業の中に設定する。	・ワークシートやノートの記述、解法の説明の仕方(筋道立てて考えを述べているか)振り返り等を重視し、評価する。	2	
	・四則計算と算数の用語の理解と定着を図る。	・デジタルドリル等を活用し、計算や知識理解の反復練習に取り組み、習熟を図る。 ・特につまづきのある児童への個別の支援を行う。	・ノート、ドリル、ワークテストなどで評価する。	2	
理科	・科学的な見方や考え方ができる。	・自然の事象・現象の変化に着目させる。	・授業での発言や観察カード・ノートなどから読み取る。	2	
	・安全に気を付け、正しい手順で実験する。	・実験の意味や方法を十分に考えさせ、実験に取り組めるよう指導する。 ・実験の結果を踏まえて分かったことを書く時間を確保する。	・授業中の児童の様子をみる。実験ごとに、カードやノートを回収し、自分の考えがもてたかを評価する。	2	
音楽	・表現活動や鑑賞活動を行うことの楽しさ、楽曲のよさや面白さを感じ取りながら、主体的に取り組もうとする力。	・楽曲全体の構造をとらえることや、音楽の諸要素と曲想との関わりを知ることで、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取れるようにする。	・授業中の発言や態度、ワークシートなどで評価する。	2	
	・表現活動に必要な技能を身に付けて、思いや意図をもって演奏したり創ったりする力。	・基礎的基本的な内容を繰り返し活動の中に取り入れていくことで、必要な技能を身に付けていけるようにする。 ・様々な音楽に触れさせると、音楽の諸要素と曲想との関わりを知ることで、どのように表現したいかの思いや意図がもてるようになる。	・実技テストや授業中の取組みの様子から、表現に必要な技能が身に付いているか評価する。 ・発言やワークシートの内容と創作作品や演奏の様子によって、思いや意図をもった表現となっているか評価する。	2	
図工	・すすんで造形表現活動を楽しむ。	・児童のつくりたい気持ちに応える題材を準備し、児童の思いを認め広げる態度で授業を展開する。	・完成作品や制作途中の活動や作品の様子、机間指導や補助簿等を活用しての児童観察。	2	
	・手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりして、造形表現活動をする。	・題材の導入では用具の扱い方や作り方の基礎を確認し、実際に体験したり試したりできるようにする。	・児童観察、作品	2	
体育	・基本的な動きを身に付け、運動を楽しく行い、活発に運動を行っていくなかで、体力の向上を図る。	・運動の特性を児童に味わわせるとともに、自分に合った課題をもち、動き方や場、練習の仕方を工夫するとともに、互いの姿を見る視点を示したり、十分な運動量を確保したりする。	・授業中の行動や交流の様子・学習カードへの記入事項を評価する。	2	
	・ルールを守り、協力して取り組んだり、励まし合ったりすることができる。	・態度の評価の具体的な観点を児童に伝え、称賛・声掛けを繰り返すことで協力・公正な態度を育てる。(用具の準備や片づけ、きまりを守り、友達と励まし合って運動することを重点に置く)。	・活動の様子やその後の振り返りの記述等から意欲や、その変容を評価する。	2	
道徳	・道徳的価値に気付き、自分自身を振り返ったり、相手の立場に立って考えたりする。	・共感したり、互いの考えを認め合ったり、自己の生き方を振り返ったりすることができる。 ・資料や教材を提示する。	・ワークシートや発言の様子から、評価する。	2	
	・道徳的な実践意欲を高める。	・体験を生かす工夫、他の教育活動との関連を図る工夫をする。	・発言、ワークシート日常の様子を通して評価に生かす。	2	
外国語活動	・外国の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。	・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深められる授業を展開する。	・活動の様子	2	
	・外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。	・児童がよく知っている人や物、事柄のうち簡単な言葉や基本的な表現で表す練習をする。	・活動の様子	2	
	・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	・児童が興味をもって取り組むことができる言語活動を易しいものから段階的に取り入れたり、自己表現活動の工夫をしたりする。	・活動の様子、振り返りカード	2	
総合	・自分が問題意識をもった課題を発見し、解決方法を考え、調べたり、活動したりする。	・体験等を通して自分が感じたことをまとめさせる。まとめたものを基にさらに自分が興味をもったことを見つけてさせる。また調べる方法を考え、見通しをもって問題解決していくことを大切にしていく。	・子どもの活動の様子を観察する。子どもが作成したものや活動のまとめや自己評価、相互評価を基に評価する。	2	
	・調べたことや体験したことなどを適切に表現する。	・相手を意識させ、多様な方法を提示し、表現方法を工夫させる。 ・活動を振り返り次の学習に生かす材料にする。	・活動の様子を観察し、表現する内容や作成した作品等からみとる。	2	
特別活動	・創意工夫をして係活動に自発的に取り組む。 ・当番の活動に責任をもって協力して、最後までやりとげる。	・役割を自覚し、協力して工夫する場を設ける。	・自己評価や相互評価や観察等を通して評価する。	2	
	・互いのよさを認め、学級や学校の一員として、よりよく過ごす。 ・学級活動で、話し合い活動に参加し、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりしながら合意形成をはかる。	・学校生活での問題や課題を見付け、皆と力を合わせ解決するための企画をし、実践する。 ・活動を振り返り次に生かす。 ・学校行事や集会活動、たてわり交流班活動、クラブ活動等を通して他学年との交流の中からよさを認め合い、協力して過ごす。	・話し合い活動や実践の場での様子、自己評価などから評価する。	2	

評価 1:達成せず 2:やや達成 3:概ね達成 4:達成

令和6年度 第5学年授業改善プラン

小平第六小学校

	伸ばしたい力	授業改善プラン	評価の計画	評価	
				1学期	2学期
国語	・本文の内容や要旨を的確に捉え、焦点化して読み取る。	・物語文や説明文の内容を的確に捉えて、自分なりの考えを明らかにしたり、短くまとめたりする学習を設ける。	・発言やノート、学習シートや作品から評価する。	3	
	・目的や意図に応じて、考えたことを書く。	・構成メモやモデル文を取り入れるなど、段階的な指導をする。 ・自分の考えを書く場面を設定し、書く時間を十分に取、書き慣れるように指導を積み重ねる。 ・新聞、日記、感想文、俳句などを定期的に多様な方法で書く機会を設定する。	・文章表記から個々の変容を読み取り、評価する。 ・モデル文をどのように生かしているかについて、実際の文章表現から読み取り、分析し、評価する。	3	
社会	・基礎的資料を効果的に活用しながら、調べたことを目的に応じて表現し、社会的事象の意味について考える。	・各単元において基礎的資料を正しく読み取る指導を丁寧に行う。 ・地図や統計資料を活用して考えを述べたり、交流したりする活動を取り入れる。 ・単元ごとなどに振り返り(分かったこと・考えたこと・疑問に思ったこと)をノートに記入させることで、思考を整理させ次時につなげる。	・資料の読み取りや効果的な使い方ができているかについて、ワークシート、ワークテスト、発言内容やノートへの記述などから評価する。	3	
算数	・問題の意味を正しく理解し、筋道を立てて考える。	・問題文の要点をおさえ、具体物の操作や図、数直線などを活用して考える時間をとる。 ・学び合いの場面を設定し、相手に伝えるように表記したり説明したりする機会を多く作る。	・学習態度、発言内容、ノートに書いた説明や図、式、振り返り、ワークテストなどで評価する。	3	
	・小数や分数などの計算、算数的語句の定着を図る。	・プリントやドリルなどを活用して「基礎・基本」の定着を図る。テストで全員の理解度を確認し、支援が必要な児童に個別に指導する。 習熟度でのじっくりクラスでは、「基礎・基本」問題に繰り返し取り組む時間を確保する。	・学習態度、ドリルやプリント類、ワークテストで評価する。	2	
理科	・自ら課題を見付け、実験の目的や計画・予想をまとめたり、実験の結果から考察したりする。	・課題意識をもち、「問題・仮説・計画・実験(観察)・結果予想・考察・結論」という学習過程を習慣化させる。 ・実験終了後に自分の考えを書く時間を十分にとって、ノートにまとめさせる。	・実験ノート、観察ノートへの記述、活動の様子、発言などから評価する。	3	
	・目的に合った方法や装置で、観察や実験ができる。	・実験の目的を丁寧におさえ、そのために必要な実験の方法や道具について実験ノートに記載する。 ・安全面の注意事項と実験装置の正しい操作方法を視聴覚機器を使うなどして丁寧に説明する。	・実験ノート、観察ノートへの記述、活動の様子、発言などから評価する。	3	
音楽	・表現活動や鑑賞活動を行うことの楽しさ、楽曲のよさや面白さを味わいながら、主体的に取り組もうとする力。	・楽曲全体の構造をとらえたり、音楽の諸要素と曲想との関わり方に気付かせたりすることで、それらの動きが生み出すよさや面白さを味わえるようにする。	・授業中の発言や態度、ワークシートなどで評価する。	2	
	・表現活動に必要な技能を身に付けて、思いや意図をもって演奏したり創ったりする力。	・基礎的基本的な内容を繰り返し活動の中に取り入れていくことで、必要な技能を身に付けていけるようにする。 ・様々な音楽に触れさせたり、音楽の諸要素と曲想との関わり方に気付かせたりすることで、どのように表現したいかの思いや意図をもてるようにする。	・実技テストや授業中の取組みの様子から、表現に必要な技能が身に付いているか評価する。 ・発言やワークシートの内容と創作作品や演奏の様子によって、思いや意図をもった表現となっているか評価する。	2	
図工	・自分の思いをもって積極的に造形表現活動を楽しむ。	・題材の提示の仕方を工夫し児童の興味関心を高める。	・児童観察と学習カード、作品から評価する。	2	
	・創造的な技能を働かせたり造形感覚を生かしたりする。	・個に応じた対応ができるよう素材や用具の準備を工夫するとともに実際に体験したり試したりできるようにする。	・児童観察と完成までの作品の変化を見取る。	2	
家庭	・実習や製作において安全に気を付けながら主体的に取り組む、最後までがんばり続ける。	・毎時間の授業のねらいを明確にするとともに、題材や見本を工夫し児童の意欲を喚起する。 ・製作のやり方が分かるよう見せ方を工夫する。毎時間全員の成果物を確認し、評価や助言を与える。	・児童観察、学習カード、作品から評価する。	2	
	・自分の生活を見つめ、家庭科で学習したことを生かし実践しようとする。	・家庭での実践を視野に入れた学習計画を立て、実践する前に自身の家庭生活を見つめる時間を設ける。 ・家庭での実践課題や調べ学習を活用し、家庭での実践化をはかる。	・児童観察、学習カード、実践課題から評価する。	2	
体育	・自分やチームの力に合った運動の課題をもち、友達と協力しながら運動することを通して、技能や体力の向上を図る。	・自分の目標やチームの目標を明確にして、友達と協力しながら、課題の解決方法を考えて取り組む。また、その結果から次の学習のめあてを設定できるようにする。体力向上に向けて継続的に取り組む活動を設定する。	・活動の様子、発言、学習カードへの記述などから評価する。	2	
	・けがの防止や心の健康について理解し、生かそうとする。	・けがの発生の要因を知ったり、成長期の心の変化について理解したりして、日常生活に生かすよう促す。	・テスト、ワークシートへの記述などから評価する。	2	
道徳	・価値に迫るために多様な指導法を工夫する。	・児童への「ゆさぶり」を積極的に取り入れ、自分事として話し合いが行われる授業展開にしていける。	・活動の様子、ワークシートなどから評価する。	2	
	・他者の考えを受け止めながら自分の考えを深め、自己の振り返りを十分に行うようにする。	・ペアやグループ、クラス全体での意見の共有を行い、話し合う活動を充実させる。	・活動の様子、ワークシートなどから評価する。	3	
総合	・自ら課題をもち、見通しをもって意欲的に追究する。	・具体的な体験などを通して課題設定と情報収集、整理分析、まとめを丁寧に進める。	・活動の様子、ワークシートなどから評価する。	2	
	・目的に応じて、現実社会とのかかわりを重視する。	・課題解決のために必要な施設や相手を調べ、自らかかわりをもてるような態度をはくむ。	・活動の様子、ワークシートなどから評価する。	3	
外国語活動	・簡単な単語や基本的な表現の意味、文字の読み方が分かる。	・自分のことや身の回りの物を題材として扱う。	・活動の様子、ワークシート	2	
	・簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えたり、質問に答えたりする。	・学校の友達や教師、ALTとのやり取りを、必然性のある場面設定で行う。 ・実物やイラスト、写真などを見せながら話す機会を設ける。	・活動の様子、発表	2	
特別活動	・自主的、実践的に活動する。(主として学級活動)	・定期的に学級会、学年での意見交換を行い、自主的、実践的な力の育成を図る。 ・話し合い活動を充実させ、人間関係を形成する力の育成を図る。	・活動の様子、活動カードから評価する。	2	
	・社会に参画する。(主として学校行事・児童会活動・クラブ活動)	・学校行事や児童会活動、クラブ活動において、各活動の目的をとらえ、協働、責任、思いやりなどの意識を明確にして活動させる。	・活動の様子、活動カードから評価する。	2	

評価 1:達成せず 2:やや達成 3:概ね達成 4:達成

令和6年度 第6学年授業改善プラン

小平第六小学校

	伸ばしたい力	授業改善プラン	評価の計画	評価		
				1学期	2学期	3学期
国語	話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど話の構成を考え、自分の考えが伝わるように表現する力。	・報告書作成やブックワークなどを通し、自分の考えが相手に伝わるように表現を工夫させる。 ・日常の学習の中で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会を多く設定する。	・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動で評価する。(ノートや発言、ワークシート、学習者用端末)	2		
	・文章を読んで理解したことに基いて自分の考えをまとめたり、広げたりする力。	・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動を意図的に設定する。	・ノートや発言、ワークシート、学習者用端末などで評価する。	2		
社会	・歴史や政治の学習課題を意図的に調べ、調べたことをもとに考え、発言できる。	・学習課題を的確につかませ、調べるポイントや視点、方法を指導することで、見通しをもち学習できるよう工夫する。また、発言・発表できる機会を増やす。	・ノートや発言、ワークシート、学習者用端末の作品などから評価する。	2		
	・学習課題について、適切に資料を読み取ったり、活用したりしながら理解し、課題に対し自分の考えをもつことができる。	・教科書や資料集を活用する時間を確保し、考えの根拠をもたせる学習展開を工夫する。新聞や発表など、方法を工夫しながら学習のまとめを行う。	・授業での学習態度、ワークシート・ノート・新聞・学習者用端末などで評価する。	2		
算数	・「基礎・基本」の定着を図る。	・ドリルやプリントを活用して、基礎・基本の定着を図る。習熟度指導を取り入れ、個に応じた指導を行う。特に下位層の児童へは、つまづいているところに気づかせ、補充していく。	・ドリルやプリント、ワークシートで評価する。	2		
	・課題に対してどのように問題解決していくか見通しをもち、自分で考えを深めたり、友達と協働で考えたりすることができるようにする。	・既習事項を確認しながら学習内容に見通しをもって取り組み、問題解決型学習の学習展開を行う。個別に考える時間や少人数のペアやトリオなどの人数で話し合う活動の場を設定する。	・学習態度、図や数直線、式、振り返りなどをかいたノート、ワークシートで評価する。	2		
理科	・課題の「発見・解決」に向け「主体的・協働的」に学ぶ力。	・まず個人で根拠をはっきりさせて仮説を立てる。実験方法を整理しながら実験する。児童の生活に即した学習内容を意識し、問題解決への動機を高める。	・実験・観察の授業の児童の活動の様子(発言、話し合い、技能)の変容で評価する。	2		
	・「観察・実験」から表現する力。	・ノートに仮説、実験の方法や手順、結果、分かったことを記入させる。その際に科学的な思考を基に、自分なりの表現をさせていく。またノートの書き方を細かく指導したり、上手に記録できている児童のノートを紹介したりするなど、表現力の向上を図る。	・ノート、ワークシートで評価する。	2		
音楽	・表現活動や鑑賞活動を行うことの楽しさ、楽曲のよさや面白さを味わいながら、主体的に取り組もうとする力。	・楽曲全体の構造をとらえたり、音楽の諸要素と曲想との関わりに気付かせたりすることで、それらの動きが生み出すよさや面白さを味わえるようにする。	・授業中の発言や態度、ワークシートなどで評価する。	2		
	・表現活動に必要な技能を身に付けて、思いや意図をもって演奏したり創ったりする力。	・基礎的・基本的な内容を繰り返し活動の中に取り入れていくことで、必要な技能を身に付けていけるようにする。 ・様々な音楽に触れさせたり、音楽の諸要素と曲想との関わりに気付かせたりすることで、どのように表現したいかの思いや意図がもてるようにする。	・実技テストや授業中の取組の様子から、表現に必要な技能が身に付いているか評価する。 ・発言やワークシートの内容や創作作品や演奏の様子によって、思いや意図をもった表現となっているか評価する。	2		
図工	・自分の思いをもって積極的に造形表現活動を楽しむ。	・題材の提示の仕方を工夫し児童の興味関心を高める。	・児童観察と学習カード、作品から評価する。	2		
	・創造的な技能を働かせたり造形感覚を生かしたりする。	・個に応じた対応ができるよう素材や用具の準備を工夫したり、表し方のヒントやアイデアを提示したりして工夫を促す。	・児童観察と完成までの作品の変化を見取る。	2		
家庭	・自分の生活を見直し、学んだことを生かしてよりよく生活しようとする態度。	・家庭での実践を視野に入れた学習計画を立て、実践前には自身の家庭での問題点を見つける時間を設ける。 ・家庭学習や振り返り、課題などを活用しながら、家庭での実践化をはかる。	・ワークシートや家庭での実践カードから評価する。	2		
	・自分らしさを表現できる作品の製作と意図的で粘り強く取り組む力。 ・製作・実習を通じた協力や学び合い。	・自分らしさを意識させる授業の導入や見本・ワークシートを工夫し意欲を高める。 ・役割や分担を確認させてから実習に取り組ませる。また取り組みの中で、教え合ったり友達の作品・考えの良さを見つけ合ったりさせる。	・児童観察、ワークシート、作品などから評価する。	2		
体育	・体を動かすことの楽しさや喜びを味わう。	・単元の特性を感じ、楽しさを味わえるような教材や指導法を展開する。	・授業中の行動観察・学習カードへの記入事項などをもとに評価する。	2		
	・学習課題を見出して、友達と試行錯誤しながら解決する力。	・児童が自らの課題を発見できるように支援をし、友達と協力しながら進んで学習に取り組めるようにする。	・授業中の行動観察・学習カードへの記入事項などをもとに評価する。	2		
道徳	・道徳的価値について考える力。	・資料をよく分析し、道徳的価値に気付く考えような発問を行う。	・発問に対する発言や考えの交流の様子、ワークシートでの振り返りの内容をもとに評価する。	2		
	・道徳的価値の観点から自己をふり振り返り、見つめる力。	・自己を見つめ深く考えられるように、普段の生活についてふり振り返りする時間を確保する。	・発問に対する発言や考えの交流の様子、ワークシートでの振り返りの内容をもとに評価する。	2		
総合	・価値ある課題をもち、見通しをもって調べたり、体験をもとに追究したりする。	・「つかむー調べるー追究するーまとめるー発表する」の学び方の習得を意図させる。 ・課題をどのように追究するかその方法について個々の支援の充実を図る。	・テーマ設定の理由、学習計画表、ワークシート、活動の様子、プレゼン資料、発表原稿、発表内容より評価する。	2		
外国語活動	・簡単な単語や基本的な表現の意味、文字の読み方が分かる。	・自分のことや身の回りの物を題材として扱う。	・活動の様子、ワークシート	2		
	・簡単な単語や基本的な表現を用いて伝えたり、質問に答えたりする。	・学校の友達や教師、ALTとのやり取りを、必然性のある場面設定で行う。 ・実物やイラスト、写真などを見せながら話したり、発表したりする機会を設ける。	・活動の様子、発表	2		
特別活動	・「自主的・実践的」な活動を積み重ねることで、児童の自治的能力を高める。	・話し合い活動を計画的に実施し、学級・学年活動、学校行事等を自分たちの力で、「自主的・実践的」に活動する力を育てる。	・話し合いの態度、実践的に活動する力で評価する。 ・様々な活動での役割を積極的に引き受け、どのように行動しているか。	3		
	自らの生活や学習の目標を決め、その実現に向けて実践する力を高める。	・マイノートや毎月のめあての振り返りを通して、「なりたい自分」に向けて、生活や学習の目標を決めて生活できるようにさせる。	・日々のマイノートや毎月のめあての振り返りで評価する。	2		

評価 1:達成せず 2:やや達成 3:概ね達成 4:達成